

# はたらく ～各機関のご紹介～

平成29年度  
PMCラボ

2018.2.3 (土)



## 農事組合法人共働学舎新得農場

1974年に「自労自活」をモットーに長野県で創立された共働学舎は、新得町の誘致を受け、町有地 30 haを無償で借り受け、1978年に新得共働学舎を設立。同団体は、知的・精神障がい者や不登校児など家庭生活や社会生活が困難な方を受入れ、集団生活や農作業を通じて「自立のための支援」を行っている。NPO共働学舎新得農場と農事組合法人共働学舎新得農場の2つの組織により構成されており、NPOは主として生活の場、農事組合法人は農業生産、加工、販売の場となっており、農事組合法人からNPOに対し、チーズ製造、農作業など生産に係る部門を委託。

同農場には、様々な仕事があり、畑（野菜づくり、出荷の準備、販売）、牛、豚、羊、馬の飼育、畜舎の管理、工芸（とうもろこし人形、工芸用の花の栽培）、木工（家具や日用品）、乳加工（チーズ、バター）、菓子製造（パン、クッキー）、交流センター「ミントル」の販売、接客、事務、建築（住宅、小屋づくり）、家事（食事づくり、掃除、まき割り、食器洗い）など。これら作業を通して、自分に合った仕事を見つけ、それを行うことで自分の役割を見出すように対応。

生産されるチーズが世界で数々の賞を受賞したことにより国際的に品質が高いことを証明。チーズが評価されたことで、商品の安全性・おいしさが世間に認められ、付加価値をつけた販売が可能となったことにより、安定した経営を確立している。



## NPOコミュニティシンクタンクあうるず

2002年9月設立。地域が抱える課題である環境改善、社会教育の普遍化、循環型社会の形成、情報化の促進等に対応するため、現在に生き、地域をけん引役となっている世代のシームレスな地域づくり集団として、「コミュニティシンクタンク」を立ち上げた。地域づくりにおけるハブ機能を保有しながら、地域戦略、施策に関する提言を行い、それを実行する団体として環境、農業、デザイン、観光、福祉、教育など、農山漁村に必要なあらゆる分野で活動。ソーシャルファームジャパン事務局、麦感祭実行委員会事務局、とかちロングトレイル推進協議会事務局等を担っている。



## ハローワーク帯広 専門援助部門

専門援助部門は障がいのある方や生活困窮をしている方（生活保護受給者など）や刑務所等出所者、その他長期療養者等を対象に求職、定着、転職の相談を行っている。また求職者だけではなく、事業主からの雇入れに関することや、対象者の職場定着に対する助言及び指導を行っている。

その他には障がい者専用求人取り扱いや、助成金等の情報提供なども事業主に行っている。

相談の際には手話協力員、精神障がい者就職サポーターによる支援も行っており、一般窓口と比べ、より専門的な相談ができる窓口。



## おびひろ地域若者サポートステーション

おびひろ地域若者サポートステーションは平成23年度から別法人が受託運営を行ってきた。昨年の平成28年4月から社会福祉法人慧誠会が受託し、運営を行っている。

地域若者サポートステーションは、働くことに不安のある方や更なるスキルアップ、自信をつけたいと考えている若者（15歳～39歳）に対して、前に進めるように様々な就労支援を行っている。じっくりと自分の課題と向き合うことや、新しい知識を身につけることなどを通し、求職～定着までを全面的にバックアップする厚生労働省からの委託機関である。行政、福祉、民間企業、その他様々な機関と連携し、ネットワークを構築し、若者の応援を行っている。